

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	坂川用水路跡地活用事業			会計	款	項目	大事	小事
				01	08	03	01	02
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）		主管課	河川課			
施策	1-6	安全性と快適性を兼ね備えた河川・排水路整備		主管課長	池田 輝昭			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	坂川用水路周辺の住民 流山本町への観光者	意図	坂川土地改良区から寄付を受けた農業用用水路を埋戻し、緑地及び散策路として再整備を行う。
事業内容	農業用用水路の埋戻し工事を行うとともに、土地利用について、関係機関と協議を行うものである。			
事業開始から現在までの状況変化	南流山7丁目、8丁目の区間は、平成24年度に整備が完了した。 地元住民の理解が得られたことから、平成28年度に238m整備した。 残区間である452mを平成29年度に着手し、平成30年度9月に完了した。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	整備率	0	35.50	100	%		整備延長÷690m
②								
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 平成29年12月に社会資本整備交付金の追加配分を受け、平成29年度事業として発注し、平成30年9月に完成した。	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		7,459,500	27,525,200	27,835,600				
事業費(b)(円)		5,400,000	25,176,000	25,528,400				
うち一般財源		5,400,000	25,176,000	25,528,400				
職員給与費(c)(円)		2,059,500	2,349,200	2,307,200				
人役・職員(人)		0.30	0.35	0.35				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	C 必要性は低下すると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
総合評価	VII 終了（事業を終了すべき）					
					コストの削減	B 削減の余地がややある

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	・工事の早期完成に向け、関係機関との協議を行う必要がある。	③取組における課題(Check)	・終了事業により記載なし。
②H30に実施した取組(Do)	・残距離452mの工事が完成した。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	・終了事業により記載なし。